

令和4年10月3日
産業経済局観光課

令和3年次 観光動態調査について

資料1

令和3年次観光動態調査について（概要）

資料2

令和3年次北九州市観光動態調査（報告書）

令和4年10月3日
産業経済局観光課

令和3年次観光動態調査について（概要）

1 観光客数【延べ人数】

（単位：万人）

	R 1	R 2	R 3	対前年比
観光地点	1,535.8	901.4	963.7	+6.9%
行祭事・イベント	885.0	112.9	141.6	+25.4%
合 計	2,420.8	1,014.3	1,105.3	+9.0%

2 観光地点の観光客数【実数】

（単位：万人）

	R 1	R 2	R 3	対前年比
宿 泊	192.9	93.2	124.6	+33.7%
日帰り	839.8	517.0	771.1	+49.1%
合 計	1,032.7	610.2	895.7	+46.8%

3 観光消費額

（単位：億円）

	R 1	R 2	R 3	対前年比
観光消費額	1,345.4	550.8	398.5	▲27.7%

【参考】 R 3消費額単価で算出した場合 287.8 +38.5%

※ 本市における一人当たりの観光消費額単価

	H 2 8	R 3	対H 2 8年比
宿泊観光客	23,104円	18,003円	▲5,101円
日帰り観光客	5,336円	1,909円	▲3,427円

4 外国人観光客数の推移

(単位：万人)

	H29	H30	R1	R2	R3	対前年比
外国人 観光客数	68.2	69.1	55.6	6.0	1.0	▲83.3%

5 産業観光客数の推移

(単位：万人)

	H29	H30	R1	R2	R3	対前年比
産業 観光客数	57.8	57.4	54.7	12.8	11.1	▲13.3%

6 修学旅行生数の推移

(単位：万人)

	H29	H30	R1	R2	R3	対前年比
修学 旅行生数	14.9	5.7	5.1	2.2	4.9	+122.7%

参考：地区別観光客数（延べ人数）

(単位：万人)

地区名	R1	R2	R3	対前年比
門司港地区	243.6	110.3	113.8	+3.2%
門司港レトロ地区	210.4	91.4	95.9	+4.9%
和布刈地区	33.2	18.9	17.9	▲5.3%
小倉都心地区	651.3	384.2	419.9	+9.3%
八幡東田地区	70.8	17.9	28.5	+59.2%
皿倉・河内地区	32.3	24.4	27.3	+11.9%
平尾台地区	35.3	23.4	26.8	+14.5%
到津の森公園周辺地区	67.1	39.0	43.1	+10.5%
若松北海岸地区	86.9	61.4	61.3	▲0.2%
若松南海岸地区	6.8	1.0	1.0	0.0%
その他	341.8	239.8	242.0	+0.9%
合計	1,535.8	901.4	963.7	+6.9%

北九州市観光動態調査

(令和3年次)

北九州市

調査について

1 調査方法

観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」（平成 21 年 12 月策定，平成 25 年 3 月改定、以下、「共通基準」と略す）に準じる。

なお、推計は令和 3 年次（令和 3 年 1～12 月）とする。

2 用語の定義

●観光

余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して 1 年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動をさす。

●観光地点

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設またはツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととする。

●行祭事・イベント

行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設または特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等をさす。

3 観光客統計上の推計もしくは集計対象の設定

共通基準では、観光客統計上の集計対象として観光地点及び行祭事・イベントを抽出する一つの条件として、以下の基準値を設けている。

推計もしくは集計対象は、前年の観光客数や行祭事・イベント入場者数が年間 1 万人以上、または特定月のそれが 5,000 人以上の観光地点及び行祭事・イベントとする。

なお、宿泊客数は観光庁（宿泊旅行統計調査）からの提供データを基に推計している。

その他については、本市独自の推計手法による。

※内数・構成比について

文中・図表における内数・構成比は四捨五入しているため、合計値と異なる場合がある。

調査結果の概要

延べ人数

令和3年次（令和3年1～12月）に、本市の観光地点を訪れた観光客は、延べ963.7万人で、対前年比6.9%の増加となっている。

行祭事・イベントに訪れた観光客は141.6万人で対前年比25.4%の増加。

この2つを合計した観光客数（延べ人数）は1,105.3万人で、対前年比9.0%の増加となっている。

○観光客数（延べ人数）

（単位：万人）

観光地点	行祭事・イベント	合計
963.7	141.6	1,105.3

○観光客数の推移（延べ人数）

（単位：万人）

種 類 \ 年 次	H29	H30	R1	R2	R3	対前年比
観光地点	1,682.3	1,501.4	1,535.8	901.4	963.7	＋ 6.9%
行祭事・イベント	850.1	818.0	885.0	112.9	141.6	＋ 25.4%
合計	2,532.4	2,319.4	2,420.8	1,014.3	1,105.3	＋ 9.0%

実人数

令和3年次（令和3年1～12月）に本市の観光地点を訪れた観光客の実人数は、895.7万人で、対前年比46.8%の増加。

宿泊客数については、124.6万人で、対前年比33.7%の増加となっている。

○観光地点の観光客数（実人数）

（単位：万人）

宿泊	日帰り	合計
124.6 (13.9%)	771.1 (86.1%)	895.7 (100.0%)

○観光客数の推移（実人数）

（単位：万人）

種 類 \ 年 次	H29	H30	R1	R2	R3	対前年比
宿泊	186.2	190.7	192.9	93.2	124.6	+ 33.7%
日帰り	1,056.2	839.8	839.8	517.0	771.1	+ 49.1%
合計	1,242.4	1,030.5	1,032.7	610.2	895.7	+ 46.8%

観光消費額

令和3年次（令和3年1～12月）の市内での観光消費額は、398.5億円で、対前年比27.7%の減少となっている。

○観光消費額の推移

（単位：億円）

項 目 \ 年 次	H29	H30	R1	R2	R3	対前年比
観光消費額	1,434.0	1,306.8	1,345.4	550.8	398.5	▲ 27.7%

分野別・地区別観光客数

○外国人観光客の推移

(単位：万人)

年次	H29	H30	R1	R2	R3	対前年比
外国人観光客数	68.2	69.1	55.6	6.0	1.0	▲ 83.3%

○産業観光客数の推移

(単位：万人)

年次	H29	H30	R1	R2	R3	対前年比
産業観光客数	57.8	57.4	54.7	12.8	11.1	▲ 13.3%

○修学旅行生数の推移

(単位：万人)

年次	H29	H30	R1	R2	R3	対前年比
修学旅行生数	14.9	5.7	5.1	2.2	4.9	+ 122.7%

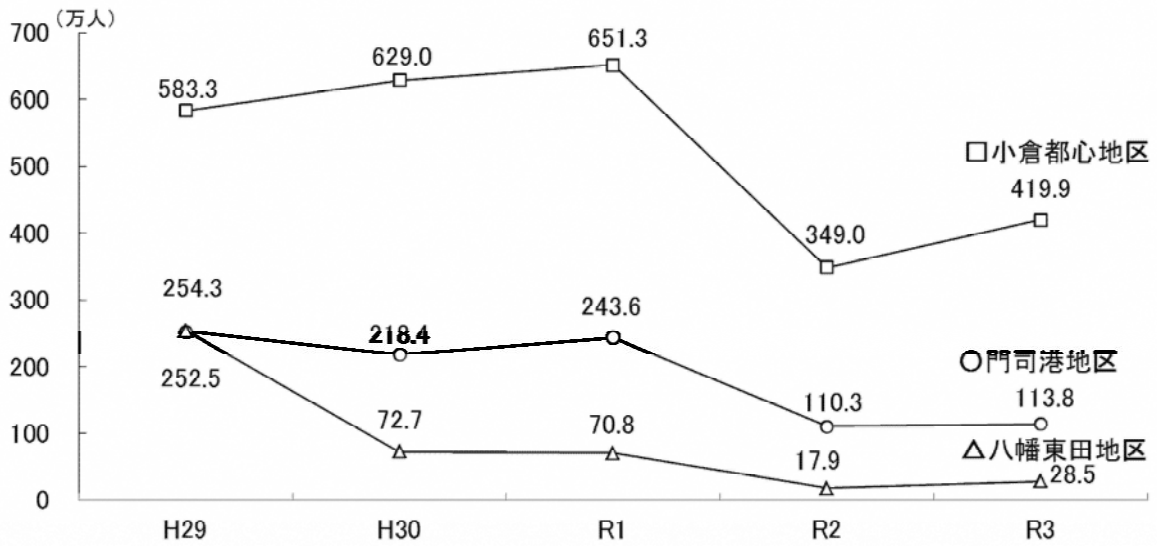
○地区別観光客数（延べ人数）

(単位：万人)

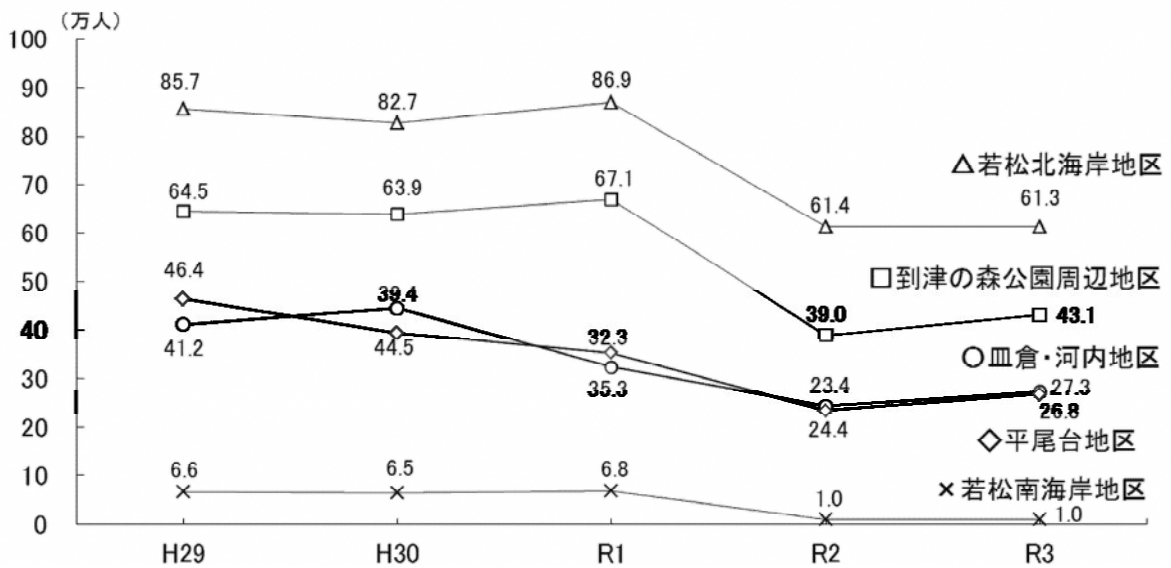
地区	種類	観光客数	構成比
門司港地区		113.8	11.8%
	レトロ地区	95.9	9.9%
	和布刈地区	17.9	1.9%
小倉都心地区		419.9	43.6%
八幡東田地区		28.5	3.0%
皿倉・河内地区		27.3	2.8%
平尾台地区		26.8	2.8%
到津の森公園周辺地区		43.1	4.5%
若松北海岸地区		61.3	6.4%
若松南海岸地区		1.0	0.1%
その他		242.0	25.0%
合計		963.7	100.0%

○地区別観光客数の推移

【小倉都心地区・門司港地区・八幡東田地区 他】



【若松北海岸地区・到津の森公園周辺・平尾台地区 他】



○主な行祭事・イベント

行祭事・イベント	見物・入場客数 (万人)	開催時期	開催場所
北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs	5.6	令和3年 4月 29日 ~ 5月 9日	八幡東区
KitaQシュガーロード博覧会	4.1	令和3年 10月 1日 ~ 11月 28日	小倉北区
小倉城 竹あかり	4.0	令和3年 10月 23日 ~ 10月 31日	小倉北区
第43回西日本陶磁器フェスタ	3.2	令和3年 9月 16日 ~ 9月 20日	小倉北区
第63回北九州小倉城まつり	0.6	令和3年 10月 16日 ~ 10月 17日	小倉北区

北九州市産業経済局 観光部 観光課

T E L 093-551-8150

F A X 093-551-8151

令和4年10月発行